

平成14年三重県消費者物価指数の動向

1 概要

三重県...平成14年平均の三重県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で98.6となり、前年に比べ1.0%の下落で3年連続の下落となりました。

持家の帰属家賃を除く総合指数は98.3で、前年に比べ1.0%の下落でした。

全国...平成14年平均の全国消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で98.4となり、前年に比べ0.9%の下落で4年連続の下落となりました。

持家の帰属家賃を除く総合指数は98.0で、前年に比べ1.1%の下落でした。

近年の総合指数の動きを対前年上昇率でみると、県も国も平成10年まで上昇傾向が続き、平成11年以降は下落傾向に転じています。総合指数の値を県と全国で比べると、指数が上昇傾向であった平成10年までは三重県のほうが低く、下落に転じた平成11年以降は三重県のほうが高い傾向があります。

平成14年については三重県も全国も引き続き下落していますが、下落幅が例年よりやや大きくなっています。

(図1、表1、統計表第1表)

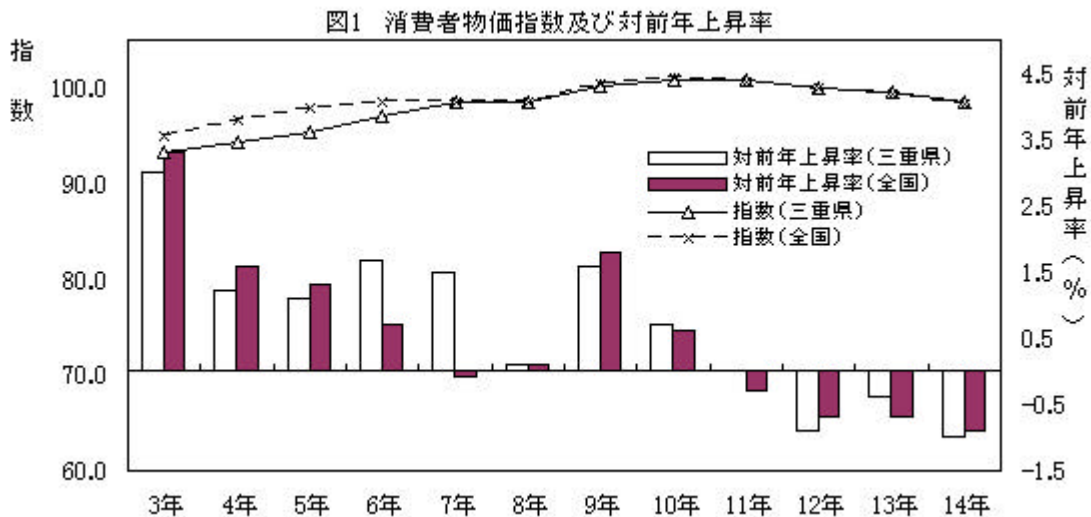


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成12年 = 100

	三重県				全国				三重県				全国				
	総合	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)			
平成元年	88.1	2.4	90.2	2.3	89.3	2.3	90.3	2.3	平成8年	98.6	0.1	98.9	-0.1	98.6	0.1	99.0	0.0
平成2年	90.6	2.8	92.9	3.0	92.1	3.1	93.1	3.1	平成9年	100.2	1.6	100.3	1.4	100.4	1.8	100.6	1.6
平成3年	93.3	3.0	95.7	3.0	95.1	3.3	96.1	3.3	平成10年	100.9	0.7	101.2	0.9	101.0	0.6	101.3	0.7
平成4年	94.4	1.3	96.8	1.2	96.7	1.6	97.7	1.6	平成11年	100.9	0.0	100.9	-0.3	100.7	-0.3	100.9	-0.4
平成5年	95.4	1.0	97.7	1.0	98.0	1.3	98.8	1.1	平成12年	100.0	-0.9	100.0	-0.9	100.0	-0.7	100.0	-0.9
平成6年	97.0	1.7	98.6	1.0	98.6	0.7	99.3	0.5	平成13年	99.6	-0.4	99.3	-0.7	99.3	-0.7	99.1	-0.9
平成7年	98.5	1.6	99.0	0.4	98.5	-0.1	99.0	-0.3	平成14年	98.6	-1.0	98.3	-1.0	98.4	-0.9	98.0	-1.1

持家の帰属家賃を除く総合

2 年間の動き

平成14年における月々の三重県消費者物価指数の動きを総合指数について、各月の対前年同月上昇率でみました。

1月は、住居や光熱・水道が上昇したものの、他の費目のほとんどが下落したため1.4%の下落となりました。2月も全く同じ傾向で1.3%の下落となり、3月も同様に0.7%の下落となりました。

4月は諸雑費が上昇した反面、光熱・水道が下落し1.2%の下落で、5月は交通・通信、教育などが上昇したものの、他費目の下落が続き1.2%の下落でした。

6月もこの傾向は続き1.1%の下落、7月は上昇費目が教育と諸雑費のみとなって、1.0%の下落でした。

8月は、上昇した費目は教育のみでしたが、全体的に下げ幅が緩やかになって、0.8%の下落にとどまりました。

9月も上昇費目は教育のみで1.2%の下落、10月も同じく1.2%の下落でした。

11月は、食料や諸雑費が上昇した影響で0.6%の下落にとどまり、12月も同様の傾向が続き0.4%の下落でした。

(図2、表2、統計表第1表)

図2 月別の動向 平成12年=100

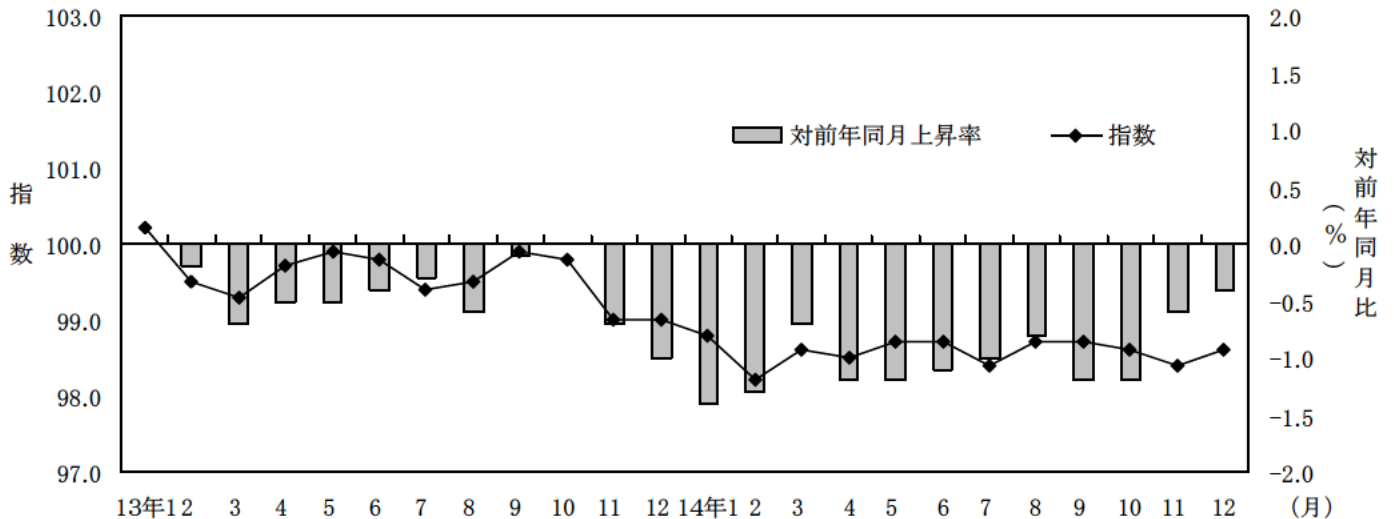


表2 対前年同月上昇率及び
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度

対前年同月上昇率…単位: %

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
対前年同月上昇率	総合	三重県	-1.4	-1.3	-0.7	-1.2	-1.2	-1.1	-1.0	-0.8	-1.2	-1.2	-0.6	-0.4
	全国	-1.4	-1.6	-1.2	-1.1	-0.9	-0.7	-0.8	-0.9	-0.7	-0.9	-0.9	-0.4	-0.3
持家の帰属家賃を除く総合	三重県	-1.9	-1.7	-1.3	-1.5	-1.1	-0.8	-0.9	-0.6	-1.0	-1.1	-0.3	-0.2	
	全国	-1.7	-1.9	-1.5	-1.3	-1.1	-0.8	-0.8	-1.0	-0.9	-1.0	-0.3	-0.3	
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度(小・中分類で寄与度の大きいもの)	家賃	0.23	0.28	0.37	0.19	-0.32	-0.47	-0.36	-0.39	-0.42	-0.42	-0.31	-0.31	
	教養娯楽耐久材	-0.12	-0.12	-0.12	-0.11	-0.09	-0.08	-0.08	-0.09	-0.08	-0.07	-0.08	-0.08	
	野菜・海産物	-0.46	-0.47	-0.43	-0.24	0.01	-0.03	0.10	-0.03	0.02	-0.10	0.26	0.27	
	肉類	0.08	0.11	0.09	0.08	0.07	0.11	-0.11	0.17	0.31	0.11	0.05	0.27	

3 費目別指数の動き

平成14年平均の三重県消費者物価指数を10大費目別に前年と比較すると、教育、諸雑費が上昇し、食料、住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教養娯楽が下落しました。

(図3、表3)

(1) 食料

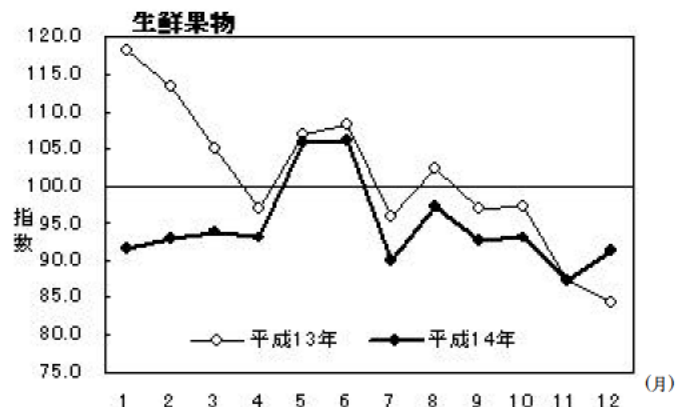
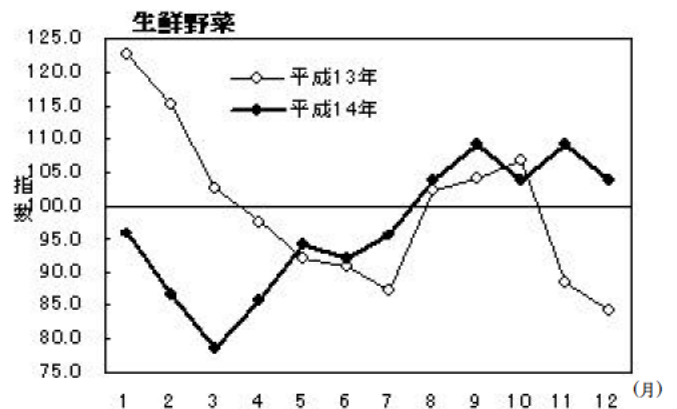
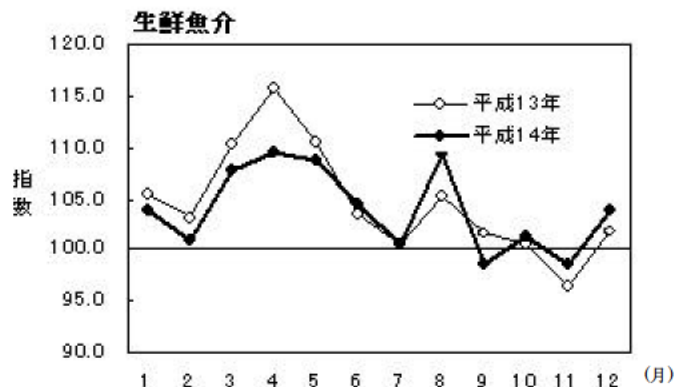
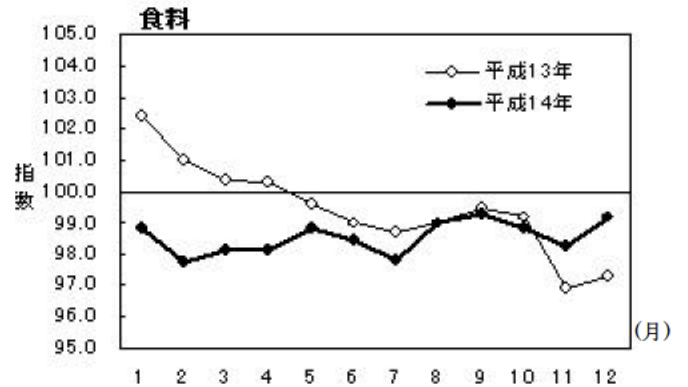
食料は 98.5 となり、前年に比べ0.9% 下落しました。

変化率の内訳をみると、果物が5.9%、野菜・海藻が3.4%、菓子類が3.3%、飲料が3.1%、魚介類が1.9%、油脂・調味料が1.4%、乳卵類が1.0%、調理食品が0.9%、酒類が0.9%、穀類が0.8%の下落でした。

一方、肉類が5.3%、外食が0.6%の上昇でした。

なお生鮮食品についてみると、

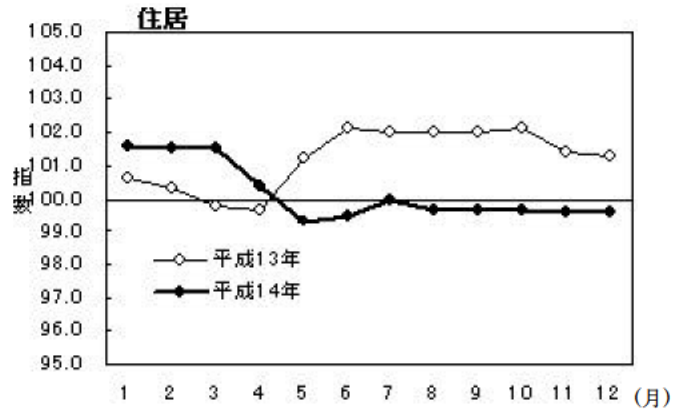
- ・ 生鮮魚介は、9月と11月を除いて平成12年の平均水準を上回ったものの、対前年比では0.6%の下落でした。
- ・ 生鮮野菜は、前半に平成12年の平均水準を大きく下回る月が多く、3月以降上昇傾向が続いているものの、対前年比は3.0%の下落でした。
- ・ 生鮮果物は、5月と6月を除いて平成12年の平均水準を下回り、対前年比6.4%の下落でした。



(2) 住居

住居は 100.2となり、前年に比べ 1.0%下落しました。

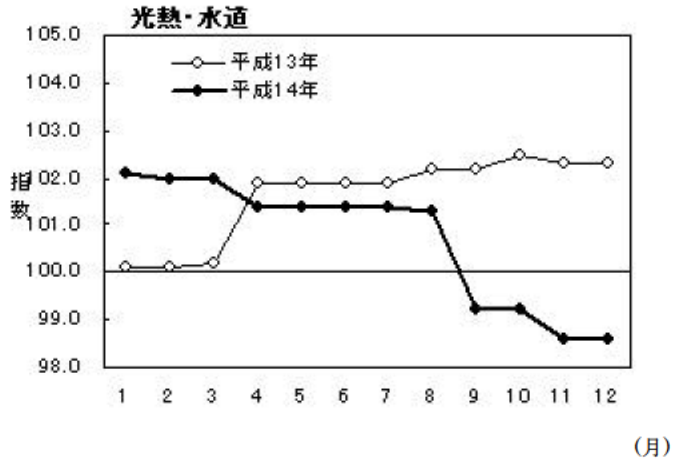
内訳をみると、家賃が 1.0%下落し、設備修繕・維持が 1.0%下落でした。



(3) 光熱・水道

光熱・水道は 100.7となり、前年に比べ0.9%下落しました。

内訳をみると、上下水道が 1.9% 上昇し、他の光熱が 7.6%、電気・ガス代が 1.1%の下落でした。



(4) 家具・家事用品

家具・家事用品は96.9となり、前年に比べ 2.4%下落しました。

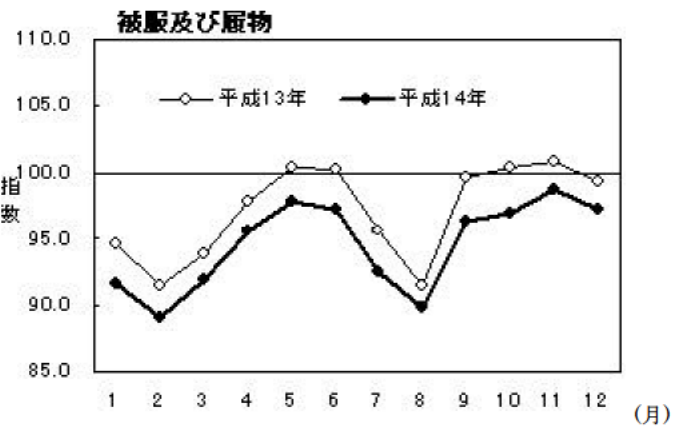
内訳をみると、家事サービスのみが3.3%の上昇で、寝具類が 5.3%、家事雑貨が3.4%、家庭用耐久財が 3.0%、室内装備品が2.9%、家事用消耗品が2.4%の下落でした。



(5) 被服及び履物

被服及び履物は94.6となり、前年に比べ2.6%下落しました。

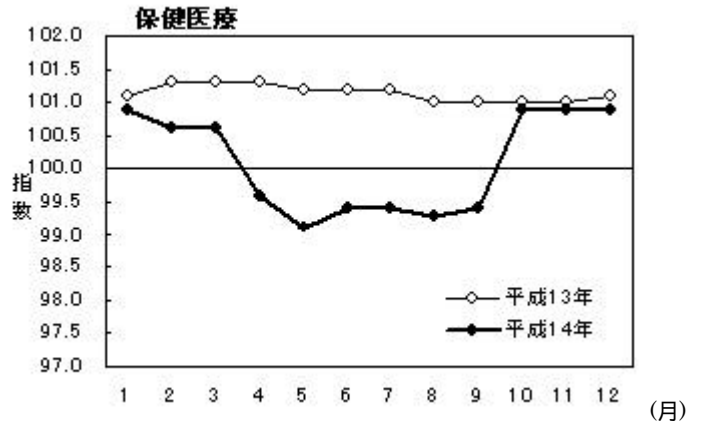
内訳をみると、生地・他の被服が 0.9%の上昇で、シャツ・セーター・下着類が4.4%、衣料が3.3%、履物類が 0.6%の下落でした。



(6) 保健医療

保健医療は 100.1 となり、前年に比べ 1.0% 下落しました。

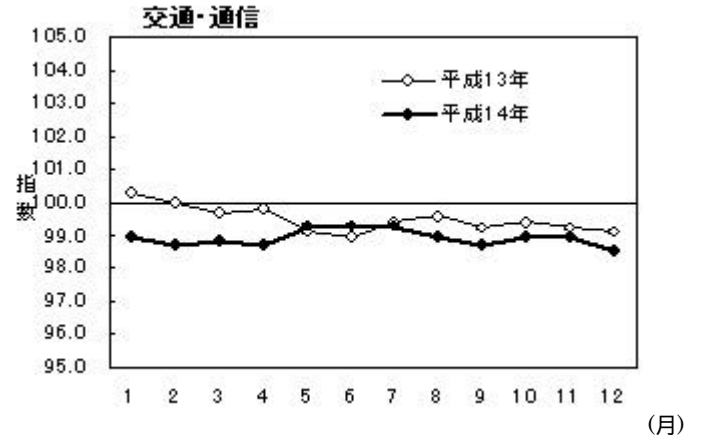
内訳をみると、保健医療用品・器具が 2.8%、医薬品・健康保持用摂取品が 0.8%、保険医療サービスが 0.5% の下落でした。



(7) 交通・通信

交通・通信は 98.9 となり、前年に比べ 0.6% 下落しました。

内訳をみると、通信が 1.5%、自動車等関係費が 0.4%、交通が 0.1% の下落でした。

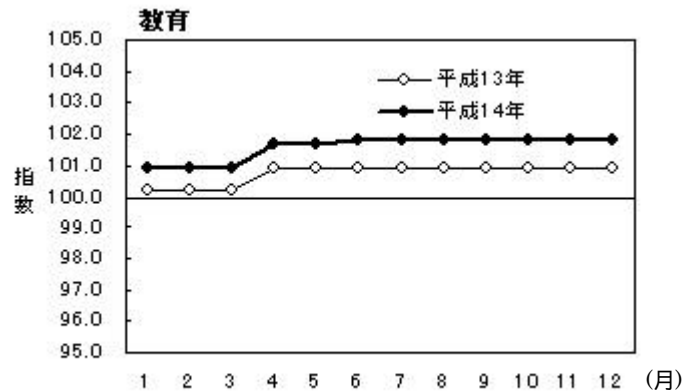


(8) 教育

教育は 101.6 となり、前年に比べ 0.9% 上昇しました。

内訳をみると、授業料等が 1.1%、教科書・学習参考書が 1.0% の上昇でした。

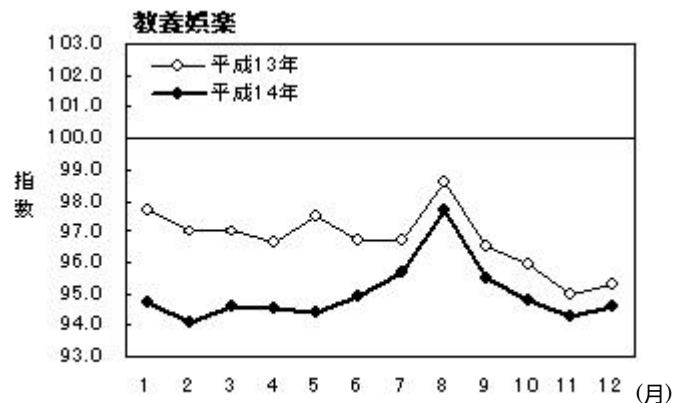
補習教育は前年と同じでした。



(9) 教養娯楽

教養娯楽は 95.0 となり、前年に比べ 1.8% 下落しました。

内訳をみると、書籍・他の印刷物のみが 0.1% 上昇し、教養娯楽用耐久財が 10.7%、教養娯楽サービスが 1.3%、教養娯楽用品が 1.1% の下落でした。

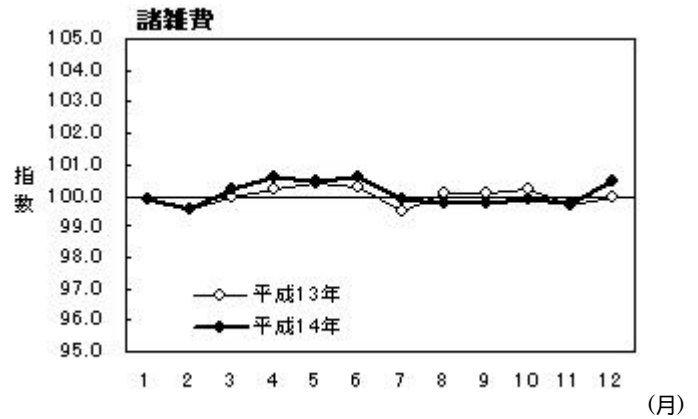


(10) 諸雑費

諸雑費は 100.1となり、前年に比べ 0.1%の上昇でした。

内訳をみると、身の回り用品が1.9%、その他が1.9%上昇した一方、理美容用品が 1.5%の下落でした。

理美容サービス、たばこは前年と同じでした。



4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とはその費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率は、総合の上昇率に占める各費目の寄与度の割合を 100分比 (各費目の寄与度 ÷ 総合の上昇率 × 100) で表すものです。

平成14年三重県消費者物価指数は、総合で見ると前年から1.0%の下落でした。

それぞれの費目では、指数の上昇したものと下落したものがあり、総合に影響を及ぼした度合(寄与度)を主な中分類別費目でみると、主に食料の肉類が0.11、同じく食料の外出が0.04、教育の授業料等が0.03と物価を押し上げる方向に働き、一方、住居の家賃が 0.16、教養娯楽の教養娯楽用耐久財と食料の野菜・海藻が 0.09、食料の菓子類、被服及び履物の衣料、教養娯楽の教養娯楽サービスが 0.08と物価を引き下げる方向に働いた結果、全体の寄与度は 1.00 (= 総合指数の上昇率が 1.0%) となりました。

(図4、表3)

図3 費目別対前年上昇率 (%)

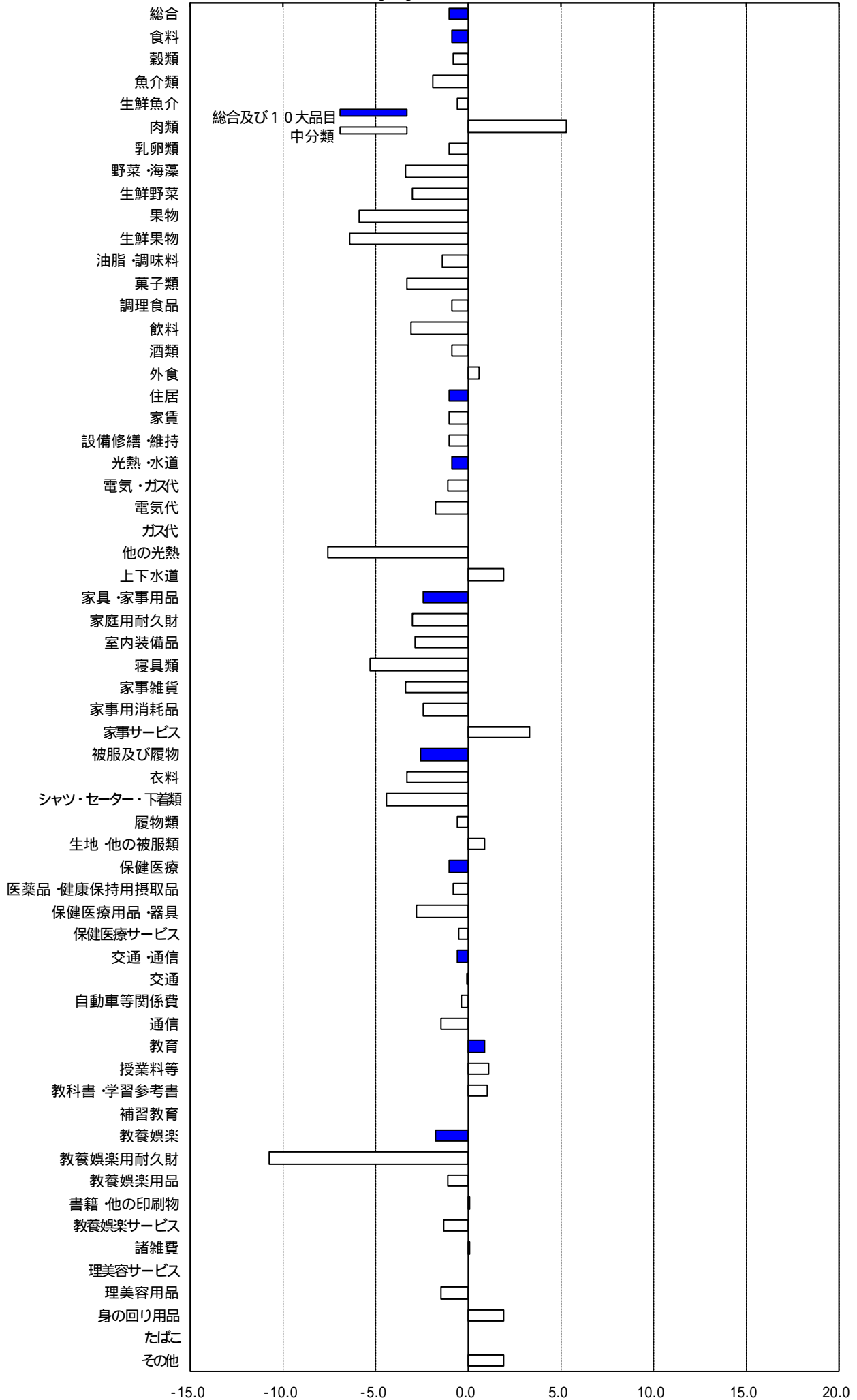


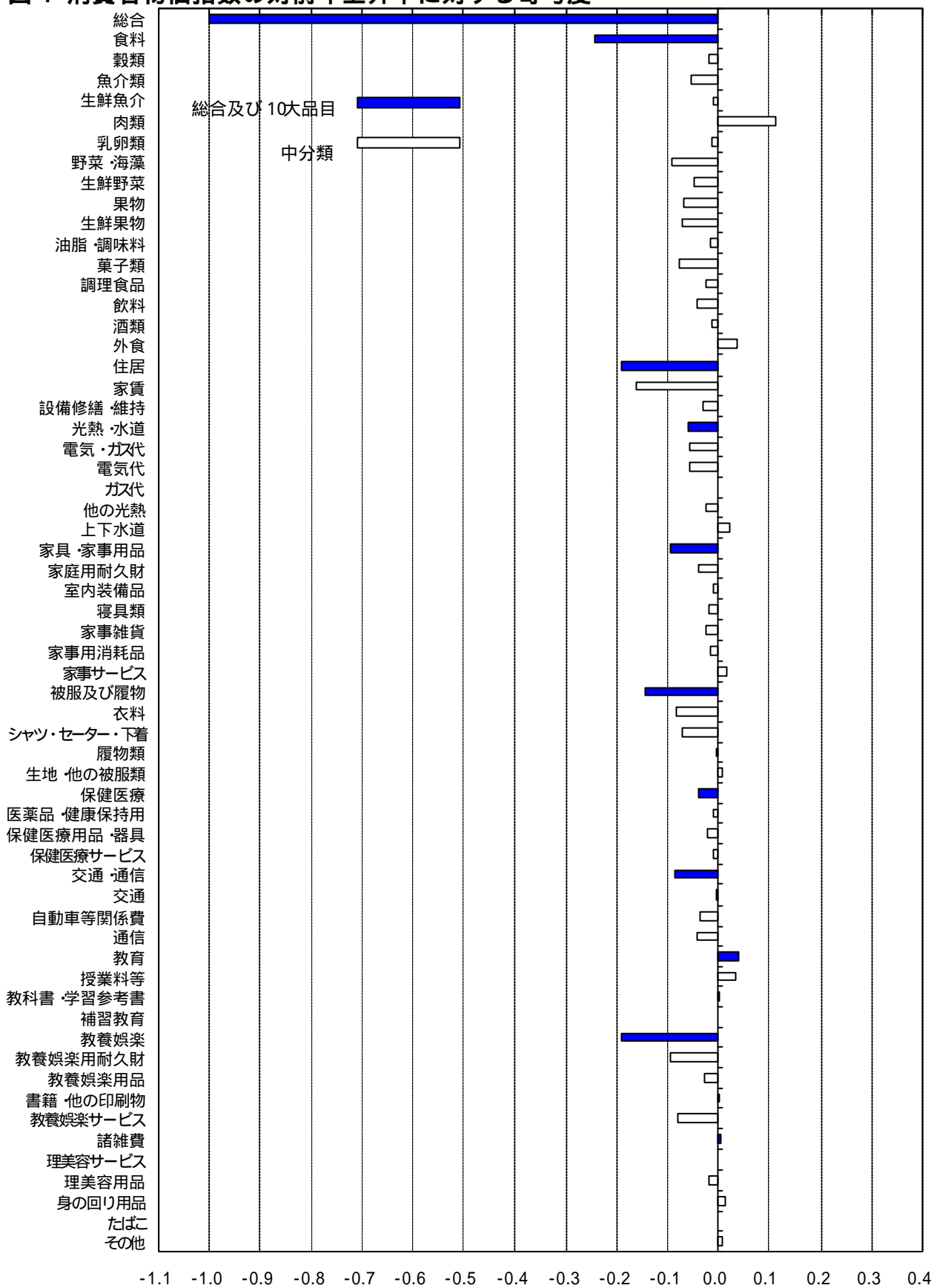
表3 4市平均中分類指数・寄与度・寄与率

指数：平成12年平均 = 100

	指 数		対前年上昇率(%)		寄与度	寄与率 (%)
	平成13年 平均	平成14年 平均	平成13年 平均	平成14年 平均	平成14年 平均	平成14年 平均
総合	99.6	98.6	-0.4	-1.0	-1.00	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	99.3	98.3	-0.7	-1.0	-0.86	86.1
食料	99.4	98.5	-0.6	-0.9	-0.24	24.3
穀類	97.7	96.9	-2.3	-0.8	-0.82	2.0
魚介類	102.4	100.5	2.4	-1.9	-0.05	5.4
生鮮魚介	104.6	104.0	4.6	-0.6	-0.01	1.1
肉類	99.2	104.5	-0.8	5.3	0.11	-11.2
乳卵類	96.6	95.6	-3.4	-1.0	-0.01	1.2
野菜・海藻	98.8	95.4	-1.2	-3.4	-0.09	9.0
生鮮野菜	99.5	96.5	-0.5	-3.0	-0.05	4.7
果物	101.0	95.0	1.0	-5.9	-0.07	6.9
生鮮果物	101.1	94.6	1.1	-6.4	-0.07	7.2
油脂・調味料	99.9	98.5	-0.1	-1.4	-0.01	1.4
菓子類	99.0	95.7	-1.0	-3.3	-0.08	7.6
調理食品	100.1	99.2	0.1	-0.9	-0.02	2.3
飲料	97.4	94.4	-2.6	-3.1	-0.04	4.1
酒類	99.7	98.8	-0.3	-0.9	-0.01	1.1
外食	99.5	100.1	-0.5	0.6	0.04	-3.7
住居	101.2	100.2	1.2	-1.0	-0.19	19.2
持家の帰属家賃を除く住居	100.0	98.9	0.0	-1.1	-0.05	5.4
家賃	101.5	100.5	1.5	-1.0	-0.16	16.2
持家の帰属家賃を除く家賃	100.8	99.7	0.8	-1.1	-0.02	2.1
設備修繕・維持	100.2	99.2	0.2	-1.0	-0.03	3.0
光熱・水道	101.6	100.7	1.6	-0.9	-0.06	5.9
電気・ガス代	100.2	99.1	0.2	-1.1	-0.06	5.6
電気代	99.5	97.7	-0.5	-1.8	-0.06	5.7
ガス代	101.4	101.4	1.4	0.0	0.00	0.0
他の光熱	106.2	98.1	6.2	-7.6	-0.02	2.3
上下水道	107.7	109.7	7.7	1.9	0.02	-2.3
家具・家事用品	99.3	96.9	-0.7	-2.4	-0.09	9.3
家庭用耐久財	97.2	94.3	-2.8	-3.0	-0.04	3.9
室内装備品	106.4	103.3	6.4	-2.9	-0.01	0.9
寝具類	97.1	92.0	-2.9	-5.3	-0.02	1.9
家事雑貨	99.5	96.1	-0.5	-3.4	-0.02	2.5
家事用消耗品	99.4	97.0	-0.6	-2.4	-0.02	1.6
家事サービス	102.0	105.4	2.0	3.3	0.02	-1.6
被服及び履物	97.1	94.6	-2.9	-2.6	-0.15	14.5
衣料	96.9	93.7	-3.1	-3.3	-0.08	8.2
シャツ・セーター・下着類	96.3	92.1	-3.7	-4.4	-0.07	7.0
履物類	96.1	95.5	-3.9	-0.6	0.00	0.4
生地・他の被服類	99.9	100.8	-0.1	0.9	0.01	-0.9
保健医療	101.1	100.1	1.1	-1.0	-0.04	3.8
医薬品・健康保持用摂取品	99.6	98.8	-0.4	-0.8	-0.01	1.0
保健医療用品・器具	98.9	96.1	-1.1	-2.8	-0.02	2.1
保健医療サービス	103.1	102.6	3.1	-0.5	-0.01	0.9
交通・通信	99.5	98.9	-0.5	-0.6	-0.09	8.5
交通	100.2	100.1	0.2	-0.1	0.00	0.2
自動車等関係費	101.2	100.8	1.2	-0.4	-0.04	3.6
通信	93.8	92.4	-6.2	-1.5	-0.04	4.2
教育	100.7	101.6	0.7	0.9	0.04	-3.9
授業料等	101.0	102.1	1.0	1.1	0.03	-3.4
教科書・学習参考書	101.6	102.6	1.6	1.0	0.00	-0.1
補習教育	100.0	100.0	0.0	0.0	0.00	0.0
教養娯楽	96.7	95.0	-3.3	-1.8	-0.19	19.1
教養娯楽用耐久財	82.8	73.9	-17.2	-10.7	-0.09	9.3
教養娯楽用品	98.3	97.2	-1.7	-1.1	-0.03	2.8
書籍・他の印刷物	100.2	100.3	0.2	0.1	0.00	-0.2
教養娯楽サービス	97.6	96.3	-2.4	-1.3	-0.08	7.9
諸雑費	100.0	100.1	0.0	0.1	0.00	-0.4
理美容サービス	100.0	100.0	0.0	0.0	0.00	0.0
理美容用品	99.1	97.6	-0.9	-1.5	-0.02	1.9
身の回り用品	101.5	103.4	1.5	1.9	0.01	-1.5
たばこ	100.0	100.0	0.0	0.0	0.00	0.0
その他	100.0	101.9	0.0	1.9	0.01	-0.9

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

図4 消費者物価指数の対前年上昇率に対する寄与度



5 各市の動き

県内4市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率で見ると、津市で0.8%下落したほか、上野市で1.5%の下落、桑名市で1.2%の下落、尾鷲市で0.3%の下落でした。

(図5、表4)

(内訳)

4市を通してみるといずれの市も食料、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、教養娯楽が下落した一方、4市全てが上昇した10大費目はありません。

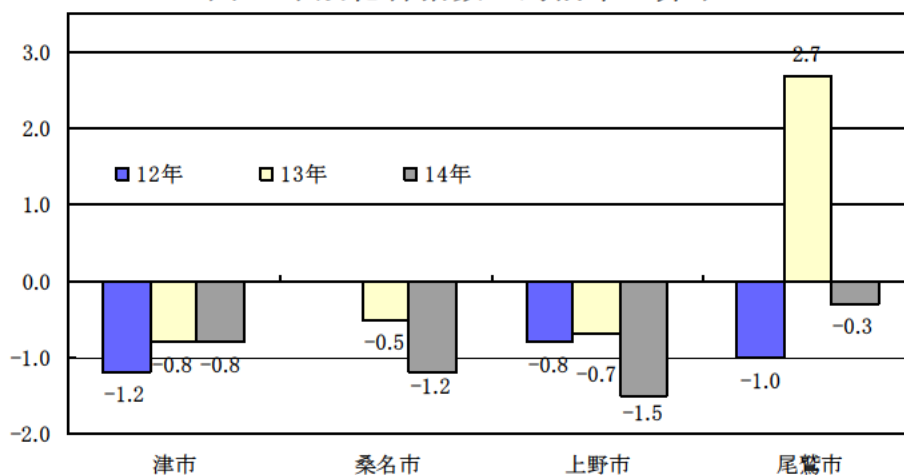
個々に見ると、津市では、教育が1.0%の上昇で津市の中では唯一の上昇となっています。

桑名市では、家具・家事用品が3.7%の下落で同費目では4市中最大の下落幅となっています。

上野市では、住居が4.2%の下落で4市の中では最大の下落幅となっています。

尾鷲市では、住居が2.9%の上昇で4市の中では最大の上昇幅となっています。

(%) 図5 市別総合指数の対前年上昇率



注・桑名市は、平成12年度からの調査なので平成12年の対前年上昇率はありません。

表4 都市別10大費目別対前年上昇率 (単位: %)

	総 合	持除 家の く 帰 属 総 家 賃 合	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	-0.8	-1.0	-0.7	0.0	-1.0	-2.4	-3.0	-1.0	-0.8	1.0	-2.2	-0.3
桑名市	-1.2	-1.0	-1.0	-1.9	-0.5	-3.7	-2.4	-0.9	-0.5	1.0	-1.4	0.4
上野市	-1.5	-1.0	-1.2	-4.2	-1.1	-0.3	-3.1	-1.5	-0.4	0.9	-1.5	0.1
尾鷲市	-0.3	-1.0	-1.3	2.9	-1.5	-2.4	-0.8	-1.0	0.0	-0.7	-1.7	0.5